

平成30年度 高冷地水稲生育速報(第4報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月13日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	70.8 (100%)	586 (117%)	3.2 (-0.4)	32.6 (-1.9)	11.2 (-0.4)
	前年	73.5	519	2.9	31.1	11.1
	平年	70.8	500	3.6	34.5	11.6
ひとめぼれ	本年	73.6 (115%)	679 (127%)	3.5 (+0.0)	33.5 (-1.0)	11.5 (+0.1)
	前年	65.4	583	2.9	31.6	10.1
	平年	63.8	536	3.5	34.5	11.4
たかやまもち	本年	69.3 (104%)	512 (117%)	3.9 (-0.5)	36.3 (-2.4)	11.5 (-0.5)
	前年	67.5	414	3.2	33.9	10.8
	平年	66.5	436	4.4	38.7	12.0
ひだほまれ	本年	73.9 (106%)	406 (112%)	3.3 (-0.3)	33.3 (-1.2)	12.2 (+0.0)
	前年	70.2	352	2.6	31.2	11.6
	平年	69.4	362	3.6	34.5	12.2
あきたこまち	本年	69.7	508	3.4	34.8	11.2
	前年	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—

栽培条件: 移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²、平成26年度は18.2株/m²、平成27年度は21.2株/m²

平年値: 過去5年間(H25年~H29年)の平均値

()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

7月上旬の気温は平年より高く、日照時間も多い。

2) 生育概況

すべての品種で平年より草丈は平年並み~やや高い。茎数は平年より多い状況である。葉色は平年並み~やや低い。

3) 病害虫等の発生状況

一部の品種で紋枯病が見られるが、発生程度は少ない。

4) 今後の管理

気象の影響により、生育が急速に進んでいる。今後も高気温、多日照が続くようであれば、葉色の低下に注意し、白未熟等の発生を防ぐため、穂肥量を増やす等工夫が必要だと思われる。特に食味向上のため、穂肥を控えている場合は、N成分で1~1.5kg/10a程度を追肥することを考慮する。

5) 幼穂長

コシヒカリ: 1cm(7月18日) 出穂予測: 8月5日

ただし、今後も良好な気候が続く予報なので早まる可能性が高い。